

萬福寺だより

第18号

HP <http://www.manpukuji.or.jp>

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2014年春号／no.18／平成26年3月1日発行



静まりかえった客殿

25年度第3回写経会、奉経調経を開催（2月11日火） 参加者全員で 「般若心経」を唱和

土曜日に降った雪が山門の屋根に残る2月11日（火）の祝日に、第3回写経会が萬福寺客殿で行われました。本年度最終の写経会とあって29名が参加、終了後にはこれまでに皆さまが書きになった写経を奉納する奉経調経が本堂で執り行われました。

午後1時からの写経会では、「般若心経」を手本に、静寂のなか皆さま真剣に筆を運ばせていました。早く書き終えた参加者は、波田野草研修委員長がお待ちになった「延命十句観音経」の写経も行いました。



安本由道副住職様（写真左上）の読経にあわせて「般若心経」を唱和する参加者

この「延命十句観音経」は波田野草研修委員長が馬込小5年生のとき集団疎開をした静岡県焼津のお寺のご住職様から教えていただいたもので、親元を離れさびしがつていた児童みんなで覚えたそうです。最近、写経の手本としてあるのを見つけ持参されました。

このあと2時半から安本由道副住職様式師のもと、参加者全員で「般若心経」を御唱和し奉納しました。

安本由道副住職様からは「無になつて写経をされている皆さまのお姿は、座禪の姿です。み仏の教えである『般若心経』をお書きになることで、「正見」の目（物事をありのまま、真実のままに見ること）が養われます。毎日の忙しい生活の中で



ひとときでも写経する時間を設けていただき、心を整えていただくと、正しい見方、考え方が持てるようになり、落ち着いた人生を送れるのではないのでしょうか。本日の法要では皆さまのご健康もあわせてお祈りしました」とのお言葉をいただきました。

2 週連続の大雪となった2月15日午後3時から涅槃会法要が本堂で行われました。この日はお釈迦様が入滅された日で、本堂右側に掲示されている「大涅槃図」（お釈迦様の入滅の様子を描いた絵画）の前で、安本利正住職様の式師のもと、厳かに御法要が行われ、参加者全員で焼香しました。

平成26年2月15日（土）

また、波田野草研修委員長からは参加者の皆さまへ感謝の言葉が述べられ、来年度の研修会行事への参加ご協力をお願いがあり、法要を終了しました。



第2回写経会は昨年12月15日（日）に15名が参加して実施

春彼岸は3月18日～24日です。

皆様でお墓参りにお出かけください!!

21日（春分の日）午後1時から法話、2時より彼岸法要が行われます。